

### 人口の状況

**図1 岩手県・国の人口の推移と見込み**

・人口は、2010年の133万人から2040年に93.8万人まで減少が見込まれている。(図1)

・人口の自然減は少子化が原因で、生産年齢人口が減少し、高齢化率が上昇していく。(図2)

・人口の社会減は、経済の状況と関係が見られる。(図4)

・人口と経済的な豊かさは人口に占める働く人の割合を通じて関係している。(式①)

一人当たり県民所得の式①

$$\frac{Y(\text{所得})}{P(\text{人口})} = \frac{Y(\text{所得})}{L(\text{労働者数})} \times \frac{L(\text{労働者数})}{P(\text{人口})}$$

(1人当たり県民所得) (労働生産性) (就業率)

**図2-1 年齢別人口構成(2010年)**

年齢層	割合
0-14歳	12.7%
15-64歳	60.1%
65歳以上	27.2%

**図2-2 年齢別人口構成(2040年)**

年齢層	割合
0-14歳	9.5%
15-64歳	50.7%
65歳以上	39.7%

**図3 1人当たり県民所得の推移**

・2010年の一人当たり県民所得は、223万4千円で国の8割程度。(表1)

・2001年以降、一人当たり県民所得は減少傾向(図3)

**図4 本県の社会減と有効求人倍率の差(県・全国)の推移**

**経済的な「ゆたかさ」の状況**

表1

区分	2010年度
岩手県内総生産(名目)	4兆0.970億円
手一人当たり県民所得	223万4千円
国内総生産(名目)	479兆2.046億円
一人当たり国民所得	272万9千円
一人当たり県民所得水準(一人当たり国民所得=100)	81.9

### 人口減少社会の主な懸念事項等

#### 地域経済への影響

(主な懸念事項)

- ・労働力不足となり経済成長が阻害されること
- ・就業率の低下による一人当たり県民所得の低下
- ・子育て世代の減少による消費の減少

【対応方向】

- ・若者、女性、高齢者が就業しやすい柔軟で公平性の高い雇用形態の実現
- ・働く女性や高齢者向けの需要の創出
- ・製品、サービスの高付加価値化

#### 社会保障・行財政等への影響

(主な懸念事項)

- ・医療、介護需要などの多様化、増大
- ・社会保障費の増加や税収減による地方財政の悪化
- ・少子化が教育に与える悪影響

【対応方向】

- ・健康意識の増進による医療費などの抑制や様々な主体による支え合い
- ・コンパクトシティや広域での機能分担
- ・きめ細やかな教育の実施と充実した教育環境の整備

#### コミュニティへの影響

(主な懸念事項)

- ・地域の担い手不足
- ・災害弱者、交通弱者、買い物弱者の増加
- ・経済の低迷による一層の人口流出と少子化の進行
- ・人口減少に伴う地域の多様性の喪失

【対応方向】

- ・元気な高齢者や若者・女性などが活躍する地域
- ・歩いて暮らせるまちづくり
- ・社会全体が子育てに協力
- ・一人ひとりの人間が大切にされる多様性を認め合う社会

### 施策の方向性

【目指す姿】(仮)  
県民一人ひとりが持てる力を十分に発揮して、多様な「ゆたかさ」を享受できる、多様性と可能性にあふれるワクワクする岩手

#### 1 強しなやかな地域経済システムをつくる

ア 付加価値を高める

- ・一人ひとりの能力を高める
- ・ブランド力を高める
- ・多品種少量生産
- ・世界の最先端分野に取り組み

イ 多様な働き方を可能にする

- ・地域資源を生かす
- ・市場を拡大する
- ・起業を支援する

ウ 企業誘致を進める

エ 地域の再生可能資源の活用による自立した地域づくり

- ・エネルギー自給率の向上
- ・家庭菜園などの奨励・支援

① 一人ひとりの人間力の向上と能力が十分に発揮できる社会

② 若者と女性が活躍できる社会

③ みんなで子どもを育てる社会

#### 2 お互いを認め合い、支えあう地域をつくる

ア 日本一子育てしやすい岩手

- ・未婚男女の出会いの場の創出
- ・安心して子どもが産める環境の整備
- ・子育て期間中の継続的経済支援の充実
- ・子育てに関する支援・相談機能の充実
- ・子育てに希望の持てる教育の実施

イ 健康寿命日本一の岩手

- ・健康教育の推進
- ・世代を問わない健康づくり
- ・高齢者の生きがいづくり
- ・高齢単独世帯の増加に対する取組の強化
- ・医療体制の整備

ウ 多様な主体の参画によるみんなで支えあう地域づくり

- ・若者が活躍する地域の取組への支援
- ・女性の地域への参画の充実
- ・高齢者和其他の世代の交流支援
- ・地域の取組を支えるNPOの基盤強化

エ 岩手型コンパクトシティによる「まちづくり」や地域相互補完型のインフラ整備

- ・各種サービス機能の集約と移転の支援
- ・交通インフラの整備

#### 3 多様な「ゆたかさ」を高め、次世代につなぐ

ア 多様で豊かな自然の保全と活用

- ・地域の自然を次世代につなげる取組
- ・地域の自然を活用した地域活性化

イ 伝統・文化の次世代への継承

- ・伝統・文化を継承していく取組
- ・伝統・文化に新たな価値を創造する取組

ウ 多様な人たちが能力を発揮できる地域づくり

- ・多様な人たちが集まる仕組づくり
- ・一人ひとりの能力を発揮することができる仕組づくり

エ 若者・女性の感性で地域を元気にする取組

- ・次世代を担う若者が主体となった新たな「ゆたかさ」の創造
- ・女性ならではの感性による新たな「ゆたかさ」の創造

オ 岩手に行ってみたくなる情報発信

- ・岩手ならではの「ゆたかさ」の積極的な情報発信
- ・岩手独自の「ゆたかさ」の情報発信